

労働災害ゼロに向けた取組のお願い

労働災害撲滅に向けた安全衛生活動は『1日にして成らず』です。日々の積み重ねこそが、あしたの快適な職場を生み出すための糧となります。真岡労働基準監督署管内では令和5年には210人の労働者が仕事中にケガをしました。仲間が仕事中にケガで不幸な目にあうことなく働くことができる日常を作り出すことは、すべての働く人にとって最も重要な仕事のひとつです。これは誰か一人だけの力では達成できません。経営者、労働者すべての働く人が地道に安全衛生水準を高めて、継続することが必要であり、ゼロ災害に向けた取組が魅力的な職場につながるのだと思います。

働くすべての皆様へ

どれほどよい製品を作れたとしても、自分自身の安全をおろそかにして、命を失ったり、大きなケガで障害を負うことになれば、必ず後悔し、大切な家族、大切な人を悲しませる結果になります。

災害ゼロのために、SAFETY FIRST(セーフティーファースト)の心掛けをお願いします。

真岡労働基準監督署長